

川越市地域自立支援協議会 会議録

会議の名称	令和5年度 第1回 川越市地域自立支援協議会 全体会																																
開催年月日	令和5年12月13日(水) 10時30分～11時40分																																
開催場所	川越市民サービスステーション会議室																																
出席者(委員) 氏名(人数)	<table border="0"> <tr> <td>高橋 幸裕</td> <td>座長</td> <td>金澤 昌敏</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>阿部 浩一</td> <td>委員</td> <td>内山 智裕</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>高梨 雅子</td> <td>委員</td> <td>金本 徳夫</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>水見 哲也</td> <td>委員</td> <td>吉田 将史</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>遠藤 政子</td> <td>委員</td> <td>溝井 啓子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>吉澤 眞佐子</td> <td>委員</td> <td>原 恭子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>大類 由佳</td> <td>委員</td> <td>八木 大介</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>岩間 亜希</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(計15人)</p>	高橋 幸裕	座長	金澤 昌敏	委員	阿部 浩一	委員	内山 智裕	委員	高梨 雅子	委員	金本 徳夫	委員	水見 哲也	委員	吉田 将史	委員	遠藤 政子	委員	溝井 啓子	委員	吉澤 眞佐子	委員	原 恭子	委員	大類 由佳	委員	八木 大介	委員	岩間 亜希	委員		
高橋 幸裕	座長	金澤 昌敏	委員																														
阿部 浩一	委員	内山 智裕	委員																														
高梨 雅子	委員	金本 徳夫	委員																														
水見 哲也	委員	吉田 将史	委員																														
遠藤 政子	委員	溝井 啓子	委員																														
吉澤 眞佐子	委員	原 恭子	委員																														
大類 由佳	委員	八木 大介	委員																														
岩間 亜希	委員																																
欠席者(委員) 氏名(人数)	<table border="0"> <tr> <td>大森 三起子</td> <td>委員</td> <td>西川 祐一</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>檜村 千寛</td> <td>委員</td> <td>柳沢 真理子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>関 隆文</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(計5人)</p>	大森 三起子	委員	西川 祐一	委員	檜村 千寛	委員	柳沢 真理子	委員	関 隆文	委員																						
大森 三起子	委員	西川 祐一	委員																														
檜村 千寛	委員	柳沢 真理子	委員																														
関 隆文	委員																																
出席者(関係者)	<table border="0"> <tr> <td>川越市障害者総合相談支援センター</td> <td>山田 英紀</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小川 紗也香</td> </tr> <tr> <td></td> <td>島野 直哉</td> </tr> </table> <p>(計3人)</p>	川越市障害者総合相談支援センター	山田 英紀		小川 紗也香		島野 直哉																										
川越市障害者総合相談支援センター	山田 英紀																																
	小川 紗也香																																
	島野 直哉																																
オブザーバー 氏名(人数)	<table border="0"> <tr> <td>弁護士法人川越法律事務所</td> <td>種子 幸奈</td> </tr> </table> <p>(計1名)</p>	弁護士法人川越法律事務所	種子 幸奈																														
弁護士法人川越法律事務所	種子 幸奈																																
事務局職員 職 氏名	<table border="0"> <tr> <td>療育支援課</td> <td>副課長</td> <td>大岩根 晃</td> </tr> <tr> <td>療育支援課児童発達支援センター</td> <td>副所長</td> <td>富岡 文</td> </tr> <tr> <td>障害者福祉課</td> <td>副主幹</td> <td>野原 芳昭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主任</td> <td>細村 卓見</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主任</td> <td>矢島 朋央</td> </tr> <tr> <td>障害者総合相談支援センター</td> <td>所長</td> <td>新井 融</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主査</td> <td>小川 真弓</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主査</td> <td>石曾根 成広</td> </tr> </table>	療育支援課	副課長	大岩根 晃	療育支援課児童発達支援センター	副所長	富岡 文	障害者福祉課	副主幹	野原 芳昭		主任	細村 卓見		主任	矢島 朋央	障害者総合相談支援センター	所長	新井 融		主査	小川 真弓		主査	石曾根 成広								
療育支援課	副課長	大岩根 晃																															
療育支援課児童発達支援センター	副所長	富岡 文																															
障害者福祉課	副主幹	野原 芳昭																															
	主任	細村 卓見																															
	主任	矢島 朋央																															
障害者総合相談支援センター	所長	新井 融																															
	主査	小川 真弓																															
	主査	石曾根 成広																															

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員及び関係者紹介（資料1） 3 川越市地域自立支援協議会について（資料2） 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 座長の選出について (2) 個別部会の構成及び活動方針について（資料3）（資料4） (3) 次期川越市障害者支援計画（原案）に対する意見聴取について（資料5）（資料6） 5 その他 6 閉会
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 「川越市地域自立支援協議会委員名簿」 ・ 資料2 「川越市地域自立支援協議会設置要綱」 ・ 資料3 「川越市地域自立支援協議会専門部会別名簿」 ・ 資料4 「川越市地域自立支援協議会イメージ図」 ・ 資料5 「川越市障害者支援計画（原案）に対するご意見について」 ・ 資料6 「次期川越市障害者支援計画（原案）の概要について」 ・ 別 冊 「次期川越市障害者支援計画（原案）、意見提出用紙

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委員及び関係者紹介資料1</p> <p>委員の改選に伴い、委員及び関係者が自己紹介を行う。</p> <p>3 川越市地域自立支援協議会について資料2</p> <p>資料2に基づき概要を説明する。</p> <p>依頼をする期間は、令和5年11月1日から令和7年3月31日までとし、期間中に委員が変更する場合には、事前に事務局への連絡を依頼する。</p> <p>部会長については、各部会の第1回会議において互選により定める。</p> <p>2月開催予定の個別部会の中で、今後のスケジュールをお示しする。</p>
	<p>4 議題</p> <p>(1) 座長の選出について</p> <p>座長は、委員の互選により選出することとなっているが、委員から推薦等がなかった。</p> <p>事務局 高橋委員を座長として選出することを提案する。</p> <p>委員 異議なし。</p> <p>高橋委員を座長として定め、座長により以降を進行する。</p>
	<p>(2) 個別部会の構成及び活動方針について資料3 資料4</p> <p>事務局 資料3及び資料4に基づき概要を説明する。</p> <p>委員 異議なし</p>
事務局	<p>(3) 次期川越市障害者支援計画（原案）に対する意見聴取について資料5 資料6</p> <p>資料5及び資料6に基づき概要を説明する。</p> <p>12月21日までに各委員から意見をいただくことについて了解を得る。</p>

<p>金澤委員</p>	<p>[質疑]</p> <p>相談支援体制の整備について、利用者は増加しているが、委託相談員の人数は削減が図られている状況がある。</p> <p>また、重度障害者のうち医療的ケアを必要とする方の支援について、どのように充実させていくかが曖昧になっている。計画の内容が中途半端な印象があり、この計画が実行されてどうなったかが見えてこない。</p> <p>ぜひ、計画の経過についても協議会に情報を提供して欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>原案の83頁のNo.82「重度障害者に対応する事業所への支援の促進」をご覧いただきたい。重度の障害者に対する支援の一つとして、こちらの事業に落とし込んでいる。また、定量的に事業を評価できるよう、活動指標に「重度障害者支援加算（Ⅱ）算定事業所数」を設定している。</p> <p>障害者支援計画については、毎年進捗状況を障害者施策審議会に報告しているが、自立支援協議会と共有する機会は十分に取れていない。次期計画を進めるにあたっては、自立支援協議会とも進捗状況を共有させていただければと考えている。</p>
<p>八木委員</p>	<p>自身であれば進路指導担当として、委員個人の立場からの意見でよいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘のとおり、それぞれの委員の立場からご意見をいただきたい。</p>
<p>金澤委員</p>	<p>重層的支援体制整備事業について、本市の取組状況を伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>重層的支援体制整備事業は、令和3年度から実施している。</p> <p>福祉総合相談窓口の各センターや社会福祉協議会のコミュニティーソーシャルワーカー（CSW）等と連携を図りながら、現在、アウトリーチや参加支援を推進しているところである。</p>
<p>金澤委員</p>	<p>相談支援員の専門性が活かされるような形で実施できているか。また、ニーズに対してサービスの提供体制が足りているか。充実させるには、人材の確保が必要ではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委託相談員については、各関係機関等との連携により、障害者</p>

	<p>等からの相談に係る第一線として大いに活躍いただいていると認識している。また、相談支援については、委託相談員の人数のみならず、市全体の相談体制を充実させることが重要であると認識している。</p> <p>なお、委託相談員の人数については、各団体等から要望として挙がっており、すでに市として回答しているため、この場での回答は控えさせていただく。</p>
水見委員	<p>今後のスケジュール感を伺いたい。</p>
事務局	<p>2～3月に個別部会を開催し、今後の方向性を検討したい。予定としては、個別部会を年2～3回、全体会を年度初めと年度末に開催したいと考えている。</p>
大類委員	<p>高等部の進路指導主事という立場から、個別部会では仕事・活動部会の所属となっているが、本校は小学部から高等部の児童が在籍しており、複数名のコーディネーターが配置されている。そのため、こども部会にも参加すると充実するのではないか。コーディネーターへの招集も検討いただきたい。</p>
事務局	<p>関係者(オブザーバー)として参画いただくことは可能である。各部会の協議事項の内容と各委員の意見を踏まえて、必要に応じて依頼をさせていただきたい。</p>
大類委員	<p>川越市の相談支援の体制が整っていない状況であると認識している。</p> <p>学校から相談員へ依頼する際、委託相談員と計画相談員のすみ分けが分かりづらいためご教示いただきたい。</p> <p>本校では、単に進路指導するだけでなく、福祉サービスの活用も含めコーディネートを考えている。</p>
事務局	<p>毎年、進路説明会等の場で学校への説明の場があるが、今後も分かりやすい説明を心掛けたい。</p>
溝井委員	<p>5 その他</p> <p>医療的ケア児に係る協議について、これまでもこども部会で話し合われてきた。ここで改めて協議の場をこども部会に位置付けた理由を伺いたい。</p>

<p>事務局 (療育支援課)</p>	<p>現在の計画にも記載されており、従前からこども部会では協議されてきた。これまで明確な位置づけがされていなかったが、改めてここから開始し次につなげていきたい。</p>
<p>溝井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の相談窓口として、埼玉県が設置する医療的ケア児等支援センター・地域センターがあり、市内に「かけはし」(川越市鴨田)がある。その影響もあるのか、近隣他市から川越市へ転入するケースも多い。 ・埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校に通う児童の7割が川越市在住の児童である。 ・先日、医療的ケア児を受け入れる放課後等デイサービスで1ヶ月間実習を受けたが、ひばりが丘特別支援学校の児童が多い。 ・他市では、重度障害児が利用できる放課後等デイサービスが増えているが、川越市は2か所しかない。地域格差が大きいと感じる。 ・県は、重症心身障害児者を支援する放課後等デイサービス事業所に対し、医療的ケア児1人あたり30万円の補助金を出している。しかし、政令市・中核市が指定する事業所は対象外である。川越市も、独自で予算措置を講じなければ推進されないのではないか。市の現状はどのようになっているのか。 ・株式会社たまみずきの社長に現状を話したところ、来春から重度心身障害児の預かりを検討いただけることになった。 ・原案114頁の協議の場とは自立支援協議会のことを指しているのか。協議の場に参加する関係者は具体的にどういった方を想定しているのか。
<p>事務局 (療育支援課)</p>	<p>原案114頁の協議の場については、こども部会のことである。ここをスタートに、年1回以上、可能であれば複数回の開催を予定している。こども部会の委員に限らず、必要な方の参画を依頼したいと考えている。その際はまた皆様のご意見をいただきたいと考えている。</p>
<p>金澤委員</p>	<p>川越市では、小学校全校に特別支援学級を設置することとなった。しかし、支援をする人材が不足しており、再任用を3回更新しているという教員もいる。教育と福祉の連携をどう図っていくか。山田相談員の意見を伺いたい。</p>

山田相談員	<p>コーディネーターの先生を通して、県立特別支援学校との連携は図られるようになってきた。しかし、特別支援学級との連携は不十分である。校長や教頭先生を通して連絡をするが、虐待ケースだと理解を得やすいが、そうでないケースは学校側の理解が乏しく連携の課題と感じている。</p>
阿部委員	<p>原案82頁のNo.79「グループホームの充実」について、活動指標が「日中サービス支援型グループホームの定員数」となっているが、「グループホームの定員数」ではなく日中サービス支援型に限定しているのはなぜか。</p>
事務局	<p>市内の状況を申し上げると、グループホームはここ数年で加速度的に数が増えており、ニーズに対して供給量が上回っている。実際に市内のグループホームの利用状況を見ると、空きも出てきている。</p> <p>地域移行の流れもあり、より重度の障害者を受け入れることができるよう「日中サービス支援型のグループホームの定員数」を活動指標として設定したものである。</p>
阿部委員	<p>通常のグループホームであっても区分5、6の重度の障害者を受け入れている。この記載では重度の障害者は日中サービス支援型で受け入れればよいという誤解を招きかねない。</p>
山田相談員	<p>ニーズに対して供給量が上回っているとのことだが、現場の意見としては、ニーズはあるが受け入れてもらえない状況が多々ある。グループホーム側の体制が整っていない状況である。グループホームの設置数の問題ではない。</p> <p>また、区分が低くても、様々な事情で在宅生活が送れない方、対人関係が困難な方、その他課題がある方等グループホームの利用が必要な方も多い。</p>
事務局	<p>6 閉会</p> <p>今年度中に開催を予定している個別部会の日程等について、別途連絡をする。調整の程よろしくお願ひしたい。</p>

--	--